

研究とは、人類がこれまでに積み重ねてきた知識をさらに拡張することです。誰も知らないことを自分が発見し、その発見が人類の知に貢献する達成感は何ものにも代えがたいものです。皆さんもぜひ、この研究の世界と一緒に味わってみませんか。



国立情報学研究所
平原 秀一 准教授 / 指導研究者 (メンター)

幅広いカリキュラムは、情報科学の魅力に溢れています。高い長期的な目標に向かって挑戦するこのプログラムは、最先端技術への興味と理解を一気に高めてくれる、他に類を見ない素晴らしいプログラムです。そして何よりも、ここで出会いは、宝物です。



トロント大学 (カナダ)
清原 光夏さん (2期生) / 修了生

情報科学はとても広く、深いです。このプログラムでは、理論から実践、基礎から応用まで様々な分野の最先端の話題を学び、最前線の研究者たちと直接議論することができます。自分の興味の種類を見つけてのめり込み、その「先」へ行ってみませんか？



大阪大学
山口 勇太郎 准教授 / 指導研究者 (メンター)

ここにはしっかり導いてくれる人と研究に励める環境があります。情報科学の達人であるメンターのオンライン講義を通じて、情報科学の視野が飛躍的に広がりました。気づいたら興味も湧いた HCI の研究をしており、研究がすごく楽しいと思うようになりました。



ジョージア工科大学 (アメリカ)
柴田 謙さん (2期生) / 修了生

REQUIREMENTS 募集要項

受講生募集と一次選抜

国立情報学研究所と情報処理学会による一般公募と、情報オリンピック日本委員会による推薦、各国公私立高専生の応募者の中から、40名程度の受講生を決定します。

応募対象 (2024年12月時点)

全国の中学2・3年生、高校1・2年生
高等専門学校1~4年生、高校生相当の力

応募期間

2024年11月22日(金)~2025年1月22日(水)

募集人数

40名程度

費用

受講費用は無料。プログラム実施場所 (大学等) までの交通費については、一部補助する場合があります。

応募方法

- 国立情報学研究所
次世代科学技術チャレンジプログラム 情報科学の達人プログラムのHPからお申し込みください。
<https://www.nii.ac.jp/tatsujin/>
- 情報オリンピック日本委員会による推薦
一般公募と同じ情報科学の達人プログラムのHPからお申し込みください。その際「情報オリンピック日本委員会による推薦」欄にある「希望する」にチェックを入れてください。
<https://www.nii.ac.jp/tatsujin/>
- 各国公私立高専生の応募
一般公募と同じ情報科学の達人プログラムのHPからお申し込みください。
<https://www.nii.ac.jp/tatsujin/>



問い合わせ先

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
国立情報学研究所
情報科学の達人プログラム事務局
E-mail : tatsujin@nii.ac.jp
<https://www.nii.ac.jp/tatsujin/>



国立情報学研究所 次世代科学技術チャレンジプログラム

情報科学の達人
プログラム

情報学の
トップ才能からエリートへ
才能の発掘、接続、達人の育成



情報学分野の最先端研究に興味がある中高生・高専生を募集
2025年度 受講生(6期生)募集
JST次世代科学技術チャレンジプログラム (STELLAプログラム)

応募期間
2024 11/22 (金) — 2025 1/22 (水)

日本の「トップの才能」から 世界のエリート研究者への第一歩

ABOUT

プログラムの概要

本プログラムでは、高校年代の情報学分野のトップ才能と、大学・大学院との接続を行い、我が国の情報学分野研究力の向上と底上げにつなげる「エリート養成」を目指します。具体的には、数学、アルゴリズム、プログラミングに高い能力を持つ中学生や高専生に対して、この年代から最先端の情報学研究に触れ、日本の情報学分野のトップクラスの研究者と共同研究を行います。

このような共同研究を通して、情報学分野の世界のトップクラスにたどり着ける道を受講生に提供いたします。

情報科学の達人プログラム コーディネーター
国立情報学研究所
教授 河原林 健一



プログラムの特徴

本プログラムでは、科学技術振興機構 (JST) の戦略的創造研究推進事業である ACT-I/ACT-X^(*) の研究者、情報オリンピックや各種プログラムコンテストの上位経験者からなる若手研究者 (メンター) 陣が、各受講生とグループを作り受講生各々の研究構想について対話を通して助言・指導を行います。

(*) ACT-I/ACT-X : ACT-Iは、JSTの戦略的創造研究推進事業において、独創的な発想で人類が現在あるいは未来に直面する問題を解決し未来を切り拓こうとするICT分野の若手研究者を見いだして育成し、研究者としての個の確立を支援するプログラム (2016年度~2021年度)。ACT-Xは、同じくJSTの同事業において、我が国が直面する重要な課題の克服に向けて、優れた若手研究者を発掘し育成することを目的とするプログラム (2019年度~2024年度)。

本プログラムは、メンター研究者のサポートのもと、
受講生が自ら率先して情報学分野の研究を行うプログラムです。

メンター研究者 (五十音順)

- 磯山 空道 准教授 (立命館大学情報理工学部情報理工学科) : 計算機システム、システムソフトウェア
- 石島 正和 協創情報研究部担当課長 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所) : 人工知能、機械学習、離散構造処理
- 五十川 麻理子 准教授 (慶應義塾大学理工学部情報工学科) : コンピュータビジョン、機械学習、センシング
- 浦西 友樹 教授 (大阪大学 D3センター) : コンピュータビジョン、拡張現実感
- 梶野 光 : 人工知能、機械学習
- 片岡 裕雄 上級主任研究員 (産業技術総合研究所) : コンピュータビジョン
- 河瀬 康志 特任准教授 (東京大学大学院情報理工学系研究科) : 離散最適化、アルゴリズムのゲーム理論
- 栗田 修平 助教 (国立情報学研究所コンテンツ科学研究系) : 自然言語、視覚情報処理
- 菅原 朔 助教 (国立情報学研究所コンテンツ科学研究系) : 自然言語処理
- 杉山 磨人 准教授 (国立情報学研究所情報学プリンシプル研究系) : 機械学習、人工知能
- 高前田 伸也 准教授 (東京大学大学院情報理工学系研究科) : コンピュータアーキテクチャ、ハードウェア・回路
- 鳴海 紘也 准教授 (慶應義塾大学理工学部情報工学科) : ヒューマンコンピュータインタラクション、計算製造
- 平木 剛史 助教 (クラスター(株)メタバース研究所/筑波大学図書館情報メディア系) : 拡張現実感、ヒューマンコンピュータインタラクション
- 平原 秀一 准教授 (国立情報学研究所情報学プリンシプル研究系) : 計算量理論
- 藤井 海斗 助教 (国立情報学研究所情報学プリンシプル研究系) : 組合せ最適化、機械学習
- 室屋 見子 特任研究員 (国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系) : プログラミング言語理論
- 山口 勇太郎 准教授 (大阪大学大学院情報科学研究科) : 組合せ最適化、アルゴリズム

CURRICULUM

1

第一段階育成プログラム_基礎コース

約40名 2025年4月~9月

最先端の情報学研究に触れ興味を絞り込む

- マッチング**
メンターと受講生のグループを作る
- オンライン講習**
情報学の最先端研究を知る
- 研究**
メンターのアドバイスを受けながら研究を始める
- 大学研究室訪問**
大学の研究室を訪問し、情報学の最先端研究に触れる
- 発表**
ワークショップにて研究の進捗状況を報告する

大学研究室を訪問

広く先端研究に触れる



2

第一段階育成プログラム_共同研究コース

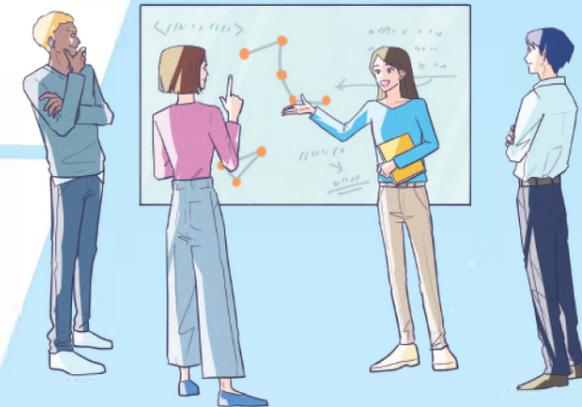
約30名 2025年10月~2026年3月

メンターの指導のもと共同研究を進める

- 中間選抜**
第一段階育成プログラム_共同研究コースに進む受講生を決定する
- 共同研究**
メンターと受講生のグループの調整後、共同研究を進める
- 情報処理学会全国大会で発表**
情報処理学会全国大会でポスター発表を行う
- 修了発表**
ワークショップにて1年間の研究成果を発表する

メンター研究者と共同研究を行う

研究成果を発表する



世界の第一線で活躍

3

第二段階育成プログラム_発展研究コース

約10名 2026年4月~2027年3月

未来を目指し発展研究を行う

- 二次選抜**
第二段階育成プログラム_発展研究コースに進む受講生を決定する
- 発展研究**
メンターと受講生のグループの調整後、発展研究を進める

& オンライン講習

情報学の最前線を学ぶために、情報学分野で過去約10年間研究を先導してきた国内トップクラスの研究者が、それぞれの研究分野の歴史、背景と最先端研究についてオンライン講義を行います。

講習一覧

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. グラフ理論、グラフアルゴリズム、計算理論 | 9. 自然言語処理 |
| 2. 組合せ最適化 | 10. 画像処理 |
| 3. 最適化一般 | 11. ロボット |
| 4. データ構造と実装 | 12. IoT |
| 5. 離散アルゴリズム | 13. アーキテクチャ |
| 6. プログラム言語と論理 | 14. データベース |
| 7. 機械学習 (基礎) | 15. グラフィックス |
| 8. 機械学習 (応用) | 16. ヒューマンインタラクション |
| | 17. パターン認識 |

10年後 研究職 情報学のエリート

学位取得 世界のトップレベルの研究機関で研究

大学進学 大学院進学
・情報学コミュニティへの参入
・海外研究機関で研修
・メンターとの共同研究

中高生 高専生
情報科学の達人プログラムで最先端研究との出会い

達人プログラムメンターに
受講生OBとして
新しい才能の
発掘・指導に携わる

エコシステム ECOSYSTEM